

氏名： 篁 倫子 (TAKAMURA Tomoko)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
学位： 1980年8月 MA文学修士(米国インディアナ州立ボール大学大学院)
1994年3月 医学博士(東京女子医科大学)
職名： 教授
専門分野： 臨床心理学、発達障害臨床、特別支援教育
E-mail： takamura.tomoko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

発達障害／極低出生体重児／小児がんとターミナルケア／国際比較
Developmental Disorders / Very Low Birthweight Infants /
Child Cancer and Terminal Care / International Comparison

◆主要業績

総数(4)件

- ・ 篁倫子(編著) 学校で活かせるアセスメント、明治図書、東京、2007
- ・ 篁倫子(分担) 発達障害と特別支援教育、学校臨床のヒント(村山正治編)、pp.206-208、金剛出版、東京、2007
- ・ Yumi Kono, Jun Mishina, Tomoko Takamura et.al,
Impact of being small-for-gestational age on survival and long-term outcome of extremely premature infants born at 23-27 weeks" gestation, J. Perinatal Med. 35:447-454, 2007
- ・ 篁倫子、『シーラという子』にみる被虐待児と教育者、幼児の教育、106(8):20-23、2007

◆研究内容 / Research Pursuits

極低出生体重児の長期予後

Long-term Outcome of Very Low Birthweight Infants

小児がんの子どもの心理教育的支援：
2006年より、小児がんの子どものターミナルケア・
教育についての国際比較研究

International Comparative Study on Terminal
Care and Education for Children with Cancer
Psychoeducational Assessment for Children with
Developmental Disorders applied in School

発達障害の子どものアセスメント：
子どもたちが抱える困難を学習や行動上のつまず
きからいかに気づいていくか、支援につながる心
理教育的アセスメントの手法を教員が身につけて
いくか。子どもに関わる人々の目を養う方法を提
案していく

◆教育内容 / Educational Pursuits

<学部教育>

- 1) 発達臨床診断法：乳幼児期の発達と心理学的アセスメントの考え方・手法を視聴覚教材や実際の検査法を使い概説する。
- 2) 障害臨床学：「障害とは」を現代の障害概念を説き、同時に、自分自身にひきつけて考えていくよう導く。障害と教育、発達障害等について概説
- 3) 学校心理研究演習：病気や障害の子どもおよび家族の理解と心理教育的支援について、議論しながら検討する。
- 4) 心理臨床実習：心理臨床の基礎的知識と技法の習得に向けた実習
- 5) 卒業論文指導

<大学院>

- 1) 障害臨床学特論：知的障害、広汎性発達障害、LD、ADHD等の発達障害についてその概念を正しく理解し、心理、教育、医学の領域における研究テーマおよび臨床の実際を学ぶ。
- 2) 臨床心理査定演習：知能・認知機能検査の理論の理解、実施技法の習得、解釈技法の習得、臨床的活用の習得を目指す。
- 3) 人間発達科学論：教育学、心理学、発達科学とその臨床についての研究テーマ、研究方法論を学び、学際的研究の基礎を学ぶ。
- 4) 臨床心理実習：心理実習とその事例検討を通して、臨床心理技法を習得する。
- 5) 心理面接法演習

◆研究計画

2007年度はGCOE研究推進の中で、1)発達障害の教育・医療および養育についての国際比較研究を開始する。オーストラリアのシドニー小児病院教育研究センター長との共同調査を進める予定